

日本産酒類の輸出促進に関する ジェトロの主な取り組み

日本貿易振興機構(ジェトロ)
平成29年9月26日

JETRO

世界的なワインコンペティションにあわせて日本産酒類プロモーションを実施 (『WABI (和美)』 ロンドン 2017年7月)

- 英国・ロンドンで行われた世界的なワインコンペティション「International Wine Challenge (以下、IWC) 2017」授賞式に合わせて開催された日本食・文化に関する展示商談会「WABI (和美)」に、国税庁と共に日本産酒類プロモーションブースを運営。
- 非日系市場開拓を目指し、現地のワイン関係者、日本食以外のレストラン関係者などに売り込みを行った。

<概要>

「WABI (和美)」

- ・日時：2017年7月7日(金)～8日(土)
(ビジネス向け 7月7日、一般消費者向け 7月7日、7月8日)
- ・場所：英国・ロンドン「リンドリーホール」
- ・主催：William Reed Business Media Ltd.
- ・規模：875m²、34社・団体
- ・対象：日本食品・飲料(酒類含む)、文化紹介 等
- ・来場者：1,474人(ビジネス430人、一般1,044人)

「日本産酒類プロモーションブース」

- ・共催：国税庁、ジェトロ
- ・規模：72m²
- ・出展者：13社(日本酒、ワイン、リキュール、流通等)
- ・人気があった商品：熟成梅酒、スパークリング日本酒、ロゼワイン
抹茶リキュール、柚子リキュール 等



(WABI会場風景)



(日本産酒類プロモーションブース)

シカゴ・トロントSakeプロモーション・ウィーク 2017 (シカゴ・トロント 2017年9月)

- シカゴのある米国中西部は、直近で日本酒の売り上げは毎年10%以上の伸びで推移しており、販売が広がるポテンシャルが高い地域。
- カナダ向け輸出額は、6年連続で前年実績を上回り、ここ6年間で1.7倍となり、伸びを見せている。
- ジェトロはシカゴ・トロントで海外商談会および各種イベントを実施。現地のワイン関係者、日本食以外のレストラン関係者などに売り込み、非日系市場開拓を目指す。

< 概要 >

- ・ 開催地：米国（シカゴ）、カナダ（トロント）
- ・ 日程：9月22日（金） 29日（金） 参加は選択式
 - 9月22日（金）在シカゴ日本総領事館での日本食・日本酒プロモーションイベント
 - 9月25日（月）シカゴ日本酒関連市場視察
 - 9月26日（火）ジェトロ主催日本酒セミナー＆商談会（シカゴ）
 - 9月28日（木）ジェトロ主催日本酒商談会（トロント）
 - 9月29日（金）トロント日本酒市場視察
- ・ 対 象：中小の日本酒蔵元及び流通業者



中東欧日本酒商談キャラバン (ブカレスト、プラハ、ブラチスラバ 2017年10月)

- 日本酒がまだあまり飲まれていない地域を目指す輸出に慣れた事業者向けの商談会。
- 中東欧3都市で、商談会および各種イベントを実施し、現地のディストリビューター、インポーター、ソムリエ、バーテンダー、ワイン関係者、レストラン経営者、料理学校関係者、メディアなどに日本酒を紹介し、市場開拓を目指す。

<概要>

- ・ 開催地：ルーマニア（ブカレスト）、チェコ（プラハ）、スロバキア（ブラチスラバ）
- ・ 日程：2017年10月11日（水）ブカレスト商談会
2017年10月12日（木）プラハ商談会
2017年10月13日（金）ブラチスラバ商談会
- ・ 主催：ジェトロ
- ・ 共催：在ルーマニア日本大使館、在チェコ日本大使館、在スロバキア日本大使館
- ・ 対象：日本酒、焼酎、ウィスキー、梅酒 等
プラハでは日本酒のドキュメンタリー映画「KAMPAI! FOR THE LOVE OF SAKE」を商談会前に上映。



Hong Kong International Wine & Spirits Fair 2017 (香港 2017年11月)

- 香港にて開催される「Hong Kong International Wine & Spirits Fair 2017」は、アジア最大級の酒類専門見本市。
- ジェトロは、本見本市に「ジャパンパビリオン」を設置することにより、日本の酒類の魅力を国際的にアピールするとともに、香港市場への新規参入・販路拡大を目指す我が国企業等を支援することで、香港さらにはアジア全体への輸出拡大を目指す。
- ジェトロは2012年に初出展、今回で6年連続6回目の出展。

<見本市概要>

見本市名：Hong Kong International Wine & Spirits Fair 2017

開催期間：2017年11月9日(木)～11日(土)

会場：香港コンベンション&エキシビションセンター

主催：香港貿易発展局

<ジャパンパビリオン概要>

主催：日本貿易振興機構(ジェトロ)
農林水産省補助事業

参加日程：2017年11月9日(木)～11日(土)

規模：162m²、18小間(9m²/小間)

参加企業：22社・団体

対象：日本酒、焼酎、ワイン、ウイスキー、リキュール(2016年度のワイン&スピリッツパビリオン)



- 焼酎の知名度向上や輸出に関わる課題抽出や問題解決への取組み、日本国内の蔵元の海外展開促進等に向け、官民一体によるオールジャパン体制で取り組むため、ロサンゼルスにおいて現地関係者をメンバーとする「焼酎輸出促進協議会in LA」を設立。

<概要>

- メンバー：政府機関、日系食品商社、有識者、県人会の関係者11名
事務局：ジェットロLA事務所
 - 内容：焼酎の知名度向上 焼酎輸出の課題共有及び問題解決 関係者間の連携促進
 - 頻度：年3回程度（第1回：8月3日 第2回：11月〔予定〕 第3回：3月〔予定〕）
- 第1回会合を2017年8月3日（木）に開催、同日夕刻に、在ロサンゼルス日本総領事公邸にて地元の飲食店関係者やインポーター、ディストリビューター、メディアやハリウッド関係者らを招待し試飲交流会を開催。



地方創生への貢献

自治体や関係機関と連携し、ジェトロの商談事業等を効果的に活用し、成功事例の創出に取り組む「一県一支援プログラム」を2013年度から実施。

- ・2013年度～2015年：秋田県（日本酒）、福井県（日本酒）、鹿児島県（黒糖焼酎）
- ・2016年度～：広島県（日本酒）、宮崎県（本格焼酎）

地域単位での支援に取り組むパイロットプロジェクトの「地域貢献プロジェクト」を支援。

- ・『地域資源を活用した九州の酒類（焼酎・日本酒等）の海外プロモーション』（2015年度～）
- ・『伏見SAKEツーリズムプロジェクト』（2017年度～）

海外市場等の情報提供

日本産酒類の輸出の現状や海外市場等に関するセミナーを開催。

栃木（8/22）、千葉（9/1）、佐賀（9/7）、
埼玉（9/21）、京都（9/29）、名古屋（12月）、
鹿児島（12月）

個別事業者への支援サービス

「新輸出大国コンソーシアム」専門家が、海外展開を図る中堅・中小企業等が抱えている課題の解決等を訪問やE-mail等を通じて支援。【77社支援】
輸出有望産品を有する企業を専門家が、輸出戦略の策定から契約締結まで一貫して支援。【6社支援】
（事前審査あり）

支援企業数は2017年9月15日時点

現地規制等の情報提供

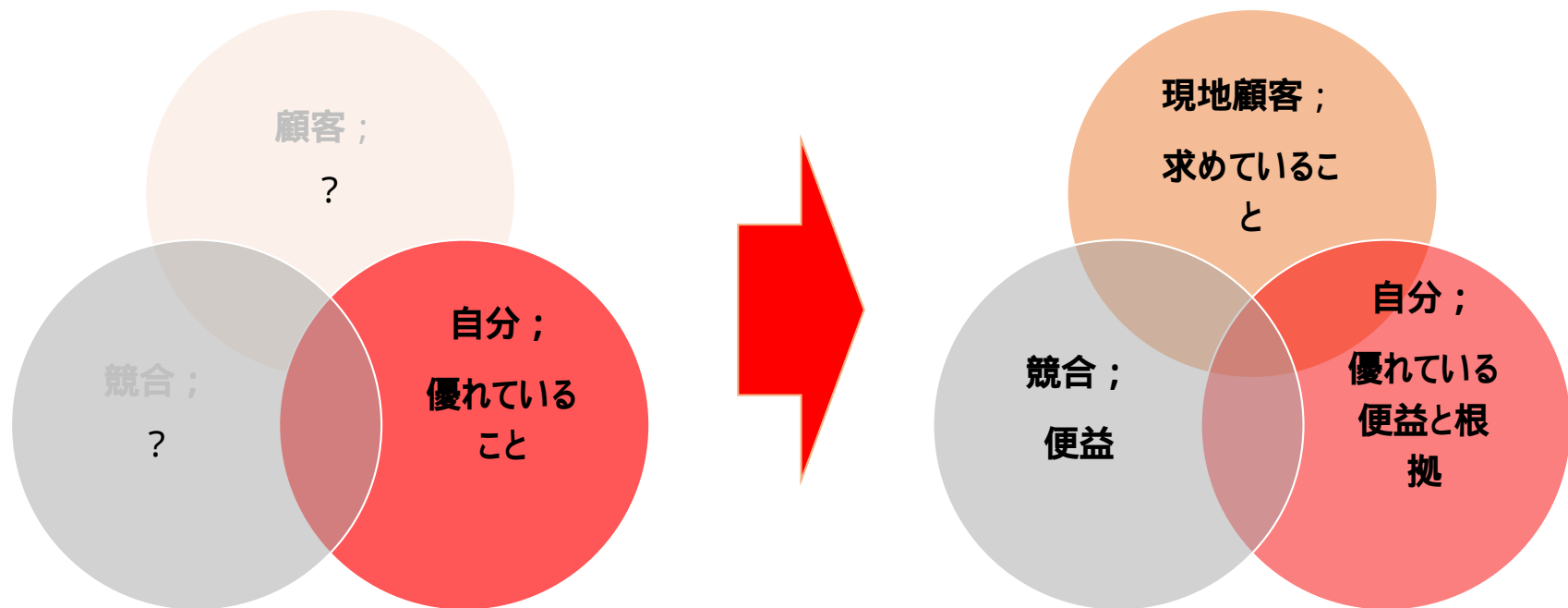
現地市場の状況を知るための「マーケット情報」、輸出する際に知っておくべき現地規則や流通イメージを得るための「輸出の留意点」、初めて輸出する方からよく聞かれる質問をまとめたQ&Aなどを掲載した、輸出ハンドブックを改訂予定（カナダ・日本酒、米国・焼酎は新規に作成予定）。

『日本酒輸出ハンドブック』
（改訂）
香港、韓国、台湾、中国、米国
（新規）
カナダ
『焼酎輸出ハンドブック』
中国、タイ
米国（新規予定）



課題認識：プロダクト・アウトからマーケットインへ

日本の尺度で自分の産品・製品の優位性を語るのではなく、市場の消費者目線で競争優位なポジショニング目標の設定とそれに合った産品・製品の再選定が必要



活動手順

設立の趣旨に沿った有望候補品目を選定後、プロモーションでブレイクスルーできそうなボトルネックを発見して戦略仮説を策定し、川上・川中・川下の情報でそれを検証し、事業者とともに順次実施していく

- 1．有望候補品目を選定
 - 輸出額と伸び率で抽出
 - 供給不安のある品目、原料用途品目、日本を語りにくい品目を除外
- 2．戦略仮説の策定
 - 輸出増が期待できる国・地域を確認
 - ボトルネックとブレイクスルーアイデアの発見
 - ボトルネックがレギュレーションやインフラにあるものは除外
- 3．戦略仮説の検証
 - 川上・川中・川下でフィージビリティをヒアリング
 - 現地消費者を対象としたコンセプト&プロダクトテストでスクリーニング
- 4．戦略仮説の実行準備
 - 参加する事業者の編成
 - 生産・物流・配架の準備
- 5．戦略仮説の実行
 - 戦略仮説の遂行（プロモーション実施）
 - PDCA